

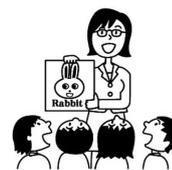
3 学習基盤づくり 学級・学習集団づくり

こんな学級・学習集団にしたいな

- 明るく、楽しく、笑顔いっぱい
- 思いやり、優しさ、温かさ
- 一人一人のよさ・違いを認め合っている。
- ルール、規律を大切にしている。
- 互いの頑張りや失敗を認め、励まし合うことができる。
- 互いに支え合い、刺激し合い、高め合っていくことができる。

一人一人が大切！

存在感がある！



生き生き！
伸び伸び！

- ☆ 安心感・・・規範意識と好ましい人間関係
- ☆ 存在感・・・互いに尊重し合う態度
- ☆ 向上心・・・前向きによりよいものを目指す心

互いに支え合って、学級・学習集団づくりをしていきましょう。

全体で取り組みたいこと

学校の体制づくり、そして、教師集団の同僚性が問われています！

- それぞれの学級経営方針を明確にし、全職員で共有しながら組織的に関わる体制を整えることが大切です。
 - ・ 互いの学級経営に対して気軽に意見が出し合える雰囲気づくり
 - ・ 子どもと向き合う時間を日課表の中に位置付けるなど、学校全体での「学級・学習集団づくり」のための環境整備

子どもに育みたいこと

一人一人を育てることが、互いに学び合う学級・学習集団につながります！

- 互いに相手を意識し、尊重する態度を育むことが大切です。
 - ・ 相手を尊重しながら意見を主張できる態度
 - ・ 時には、折り合いをつけるために自分の意見を抑える態度
- 自分が所属している集団（学級・学習）を大切にし、協力する態度を育むことが大切です。
 - ・ 所属集団のために、「自分には何ができるか」を真剣に考える態度
 - ・ 所属集団のために、協力したり労を惜しまずに活動したりできる態度

教師（担任）が心がけたいこと

教師の姿勢が子どもを導きます！

- 一人一人のよさを生かし伸ばすために、結果だけでなくプロセスを大切にし、機会をとらえて効果的に「承認、奨励、称賛」していくことが大切です。
- 集団の一員として役割を果たすなど、意図的に小さな成功体験を積み重ねることが大切です。
- 多様な意見や価値観を認めて最後まで真剣に聴く、たとえ間違っても笑わないなど、全員が気持ちよく学べるようなルールを子どもとともに確立していくことが大切です。

先生方の意識が学級・学習集団を変えます

私たち教師は、教職経験の年数にかかわらず、子どもたちとの関わりの中で、「この子どもたちにとってどんな先生であるべきか。この子どもたちのために何をすべきか。」等の決意や願いを抱き、持続させることが大切です。

子どもたちと共に歩む姿勢を示し、温かい人間関係で結ばれた学級・学習集団づくりに努めましょう。

学級・学習集団づくりはすべての土台！集団を見つめ、振り返ってみましょう。

☆ 互いに支え合って集団づくりをしましょう！

- 学校・学年の経営方針を踏まえて学級目標を設定し、それを意識した学級経営をしていますか。
- 学級経営を充実させるために、指導内容や環境整備等について、気が付いたことを伝え合う雰囲気はありますか。
- 自分の学級を客観的に見るために、他の学級との交流や先生方との情報交換をしていますか。

☆ 一人一人を認め、励まし、称賛して温かい雰囲気をつくりましょう！

- 子どもの間違いや多様な考えを共感的に受け入れていますか。
- 子どもたちの間違いや多様な考えを生かすことにより、「みんなの役に立てた」という自己有用感をもたせていますか。
- 一人一人のよさを認め、よさを伸ばすことに努めていますか。
- 子どもの結果だけでなく、陰の努力や小さな変化を見逃さず、プロセスを大切に褒めていますか。
- 直接褒めることに加えて、他の教師を通して間接的に褒めたり認めたりしていますか。
- 子どもができないことを仕方がないと諦めずに、課題解決の糸口を子どもとともに考える姿勢をもち、指導や支援をしていますか。

〇〇さん。
自分の考えが、素直に書いているね。



☆ 一人一人のリーダー性を育て、集団を成長させましょう！

- 子どもが自ら積極的に活動できるような働きかけをしていますか。
- 子どもが相手を尊重しながら、自分の考えや意見を伝える場の設定と工夫をしていますか。
- 所属している集団のために、「自分に何ができるか」を真剣に考えさせ、話し合う場を設定していますか。
- 係や班のリーダーなど、一人一人に必要な経験を積ませていますか。
- 所属している集団の成長に気付かせるために、学習課題に協力して最後まで取り組んだり、みんなで一つのものをつくり上げたりする経験をさせていますか。



☆ 安心して学べる学級・学習集団を目指しましょう！

- 全員が気持ちよく学ぶためのルールを子どもとともにつくっていますか。
- 子どもたちに「なぜそのルールが必要なのか」等、意味を理解させていますか。
- 友達が表現したものに対して、冷やかしたり、笑ったりするなど、学習活動に必要な守るべきルールを子どもが破ったときには、毅然とした指導をしていますか。



うなずいて話を聞いてくれるから話しやすいね。
安心して何でも話せるね。